

2024年度就職先アンケート結果

今年度の卒業生の就職先52施設に配布し、記載が得られた39部を集計しました。（回収率75%）

I-1. 対象の施設規模

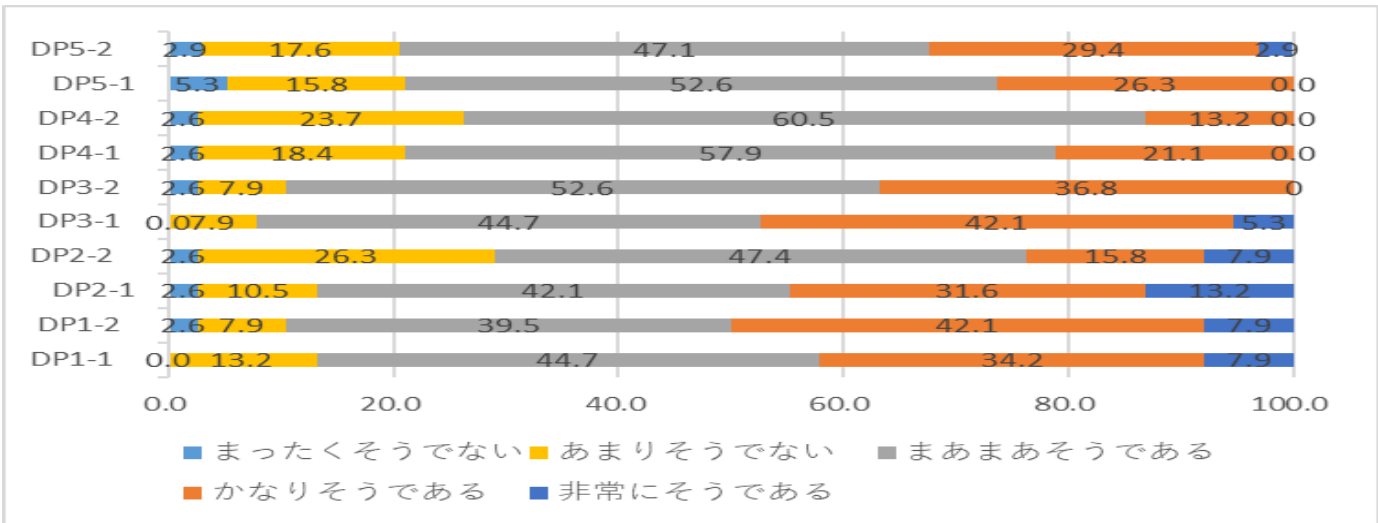
	度数	%
100床未満	0	0.0
100床～299床	5	12.8
300床～499床	10	25.6
500床以上	20	51.3
その他	3	7.7
不明	1	2.6
合計	39	100.0

I-2. 卒業生人数

	度数	%
5名未満	35	89.7
5～10名未満	1	2.6
10名以上	2	5.1
不明	1	2.6
合計	39	100.0

II. 卒業生にDPで示す力がどれだけ身に着いているかについて

n = 38



【自由記述】

1 5つの力について

1) 自己教育力について

- 主体的に自分がどう成りたいのか、どうありたいのかなど考える力をもっとつけて行きたいと考えています。学習方法についても今の学生さんの学習スタイルを理解し、臨床の教育に繋げていきたいと思っています。
- 自己教育力やチームで働く力は養われてきていると思います。それぞれがんばって学んでおります。
- わからないことは自ら調べ、その上で質問するなど特に自己教育力が身についています。
- 自己教育力（自分から学ぼうとする姿勢や積極性）は弱い新人が増えている。
- 自分なりに自己学習の方法を色々試しながら等、自分で学ぶ習慣はあまり感じません。

3) チームで働く力

- 必要なコミュニケーション力や報連相が少ないなど、自ら支援を求めることが少ない傾向が個別に見受けられる。また、このような傾向の新人は定期面接で課題を認識できるように助言しているが、実践力に成長の差が生じている気がする。そして、「看護の専門性」に関する点においても成功体験への感性が低く、自己肯定感や自己教育につながりにくい印象がある。
- 自分の意見を持ちながら周りの意見も聞き、自分の役割を理解して他者と協働することもできています。

2) 問題解決力

- 先輩に相談しながら行うことができています。
- そもそも問題をとらえる力が弱い。現場実習での経験がもっと活きたとよい。

3) 全体について

- 5つの力については大方身につけている状況で、現段階では順調に成長している様子がうかがえる。
- 5つの力を発揮する余裕がないのが現実です。覚えて実施できるようになることに精一杯に思われます。
- 患者と関わる場面ごとに看護についてよく考えて対応しようとする姿勢がうかがえます。様々な看護や治療、倫理面などの問題をひろいあげ、解決するための方法を自分なりに考察する力が養われると、さらにすばらしい看護師としての対応力が身につくと考えます。
- 個人差はあると思いますが、客観的に自己を振り返り、考える力を強化できるとよいと感じる。
- 看護師として社会人として重要な能力であると思います。学生のうちに全て身につけるのは難しいと思うので、働いていく中で少しずつでも成長してもらえよう継続して教育していきたいと思っています。

【評価】

卒業生によって個人差がみられているが、チームで働く力や自己教育力は一定の評価は得ている。1年目の看護師は業務を覚えて実施できるようになることが精一杯であり、継続教育の必要性についての意見があった。

Ⅲ. DSの利用について

	度数	%
DSを活用した	35	89.7
DSを活用しなかった	4	10.3
合計	39	100.0

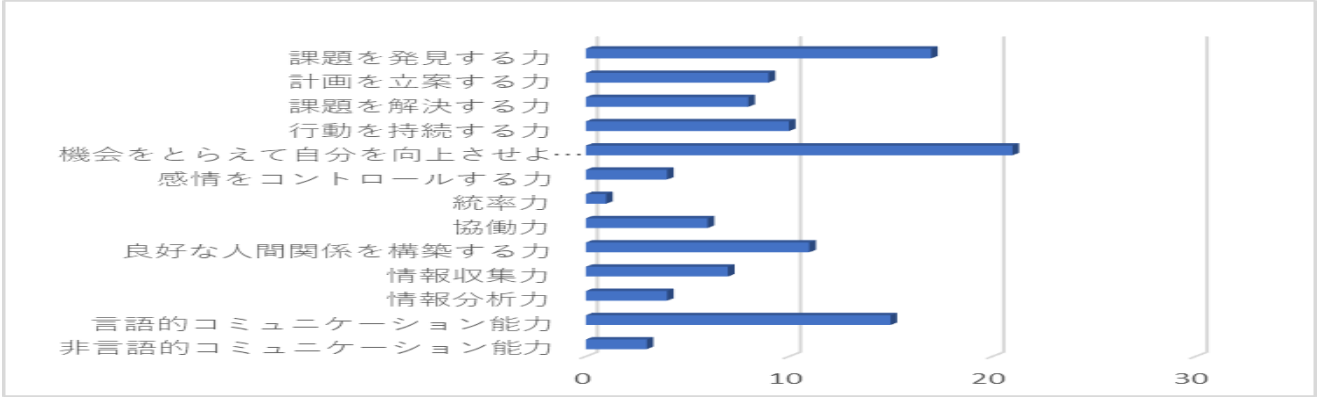
【DSを活用しなかった理由】

- ・ディプロマサプリメントの存在を知らなかった（14名）。
- ・本人から提示がなかった（9名）。
- ・他の入職者は持っていないため、特別に活用するという考えは持っていない。

【DSを活用した理由】

- ・基礎教育から臨床での継続教育を通して自己の成長に見える化することで認識を高め、次の目標（ステップ）へつなげる手段として活用。
- ・所属師長と部署新人教育担当者や部署管理者間で自己評価の状況を確認した。

Ⅳ. 本学で強化してほしい力



n = 39

6. 本学の教育・卒業生に望むこと

1) 社会人基礎力やレジリエンスの強化

- ・社会人基礎力やレジリエンスを高めてもらいたい。

2) 赤十字の理念の理解

- ・看護における基礎知識はもちろんであるが、気づき、考え、行動する力、専門職として自分の思考や行動を振り返り、自己教育力を高め、自ら学び続けていく姿勢を身につけてほしい。赤十字の使命、基本原則の理解を深めてほしい。
- ・赤十字の看護師養成大学としては、赤十字理念の基、チーム協働や対象への看護実践力を望みます。その為には、基本的な挨拶や笑顔、自己の行動をふり返り継続的に学習する力を求めます。
- ・助産師の方が多いので、自律しておられる感じがします。赤十字のマインドを基礎教育から教育している貴校はとても重要と考えます。今後も期待致します。

3) 自己を表現する力

- ・援助要請や自己の考えを表現する力を強化していただきたい。
- ・看護実践の中で患者さんの状況を理解する力、チームの中で自分の意見を伝える力などコミュニケーション能力の向上を期待します。
- ・他者の意見や思いを知ろうとしたり、くみとる力は十分にありますので、自らの考えや意見を発信する力があるとすばらしいと考えます。

4) その他

- ・リーダーシップをとれるような、他校を卒業した同期をひっぱっていけるようになってほしいです。
- ・問題解決力については、情報と情報を関連づけて全体像を把握するアセスメント力に課題があります。経験を重ねることで少しずつ成長が見られています。実習を通して患者を生活者としてとらえアセスメントすることを強化できればと考えます。
- ・積極的に学ぶ姿勢
- ・提出物を期限内に提出できること
- ・情報探求、分析力、課題に対して取り組み力を強化していただけるとありがたいです。実習の受け入れ等がないため、学校と病院の連携を図ることがで

【まとめ】

就職先より本学で強化してほしい力として「機会をとらえて自分を向上させようとする力」が最も多く、次いで、「課題を発見する力」、「言語的コミュニケーション能力」が多かった。昨年度の結果と同様だったが、就職先からは自己を向上させようとする力や社会人基礎力の強化が求められている。

今年度も昨年度同様に就職先にアンケートを郵送する際に卒後1年目・3年目の名簿と調査用紙と一緒に配布した。就職先の指導者や教育部長さんより卒業生へ手渡されることで施設の負担はある可能性は考えられるが、卒業生もアンケートに丁寧に回答していただくことができた。今後も継続して今年度同様の方法で卒業生の名簿と調査用紙を配布することで、本学の教育に貴重なご意見をいただくことができると考える。また、DSについては施設側にもアンケート配布時など情報提供するなどの検討が必要である。

文責：西村